



こけら落としに 日体大女子バレーボール部を招く

総合体育館のこけら落としに、日体大女子バレーボール部を招き、五月三日の祝日、中・高校生、ママさんバレーボールチームなど約二百人が参集して、熱心に指導を受けていました。

この日、午前九時半から、濃紺のトレーニングウェアに身をつつんだ、宗内監督ら十九人の部員はそれぞれ、中・高生徒やママさんチームなどの指導につき、準備体操で軽く体をほぐした後、基礎から順序よく、ていねいに指導を行



一生けん命、指導をうける中学生

い、この日参加した人は「学ぶことばかりで、たいへん勉強になります」と話していました。

午後からは、日体大選手の模範練習試合が行われ、あざやかな「クイック」などの技に観客席から「さすがアー」という声と拍手が館内に響き、結果は2対1でB組が勝利

総合体育館デックカク竣工

一六億円を投入



すべての人にスポーツを

「すべての人にスポーツを」を合言葉に、スポーツの振興に力を入れ、体育協会への加盟団体も毎年増加し、スポーツ熱は高まる一方です。そこで一昨年は二万二千平方メートルの屋外体育施設(野球場二面、テニスコート二面)を建設し、シーズンには野球やテニスの愛好者でにぎわっています。

今回は室内スポーツ施設も是非建設をという強い要望から、以前野球場として使用していた、用地一万九千平方メートルに、武道館を併設した。大きな総合体育館が完工し、四月二十五日、町内外から関係者二百五十人が参席して盛大に竣工式典が行われました。

式は十時から「君が代」斉唱で始まり、式辞のあいさつで町長は「多くの人から利用され、喜ばれる施設となるよう期待する」と述べ、続いて工事概要報告、設計、建設業者に對し感謝状が贈られ、

記念式典に 二百五十人が参集



このあと、君知事などから来賓の祝辞をいただき、最後に笠原教育委員長が喜びの言葉を述べ、「この施設を大いに利用してスポーツの町の名を取り戻し、全町民が健康の増進と体位向上に役立て、明るい町づくりを進めて行きたい」と結び、このあと祝賀会に移り、日本体育大学トランポリン部の模範演技や町内の郷土芸能保存会による棒踊りなどが披露され、完成の喜びにひたっていました。

この体育館の特徴は二階に七百三十の固定椅子を置き、ゆったりと競技を観覧することができ、また、雨の日でも陸上の練習ができるようにと、巾一・五メートル、周囲百七十メートルの走

路を設け、体育館フロアは、同時にバスケットボール二試合を行える広い面積です。

武道館は体育館から渡りロウカで結ばれ、剣道場二七八平方メートル、柔道場一九九平方メートル、八四畳敷きの広さ、隣りは、県内でも数少ない室内相撲場、二〇平方メートルも完備しています。

建設費(附帯工事を含む)一六億円近い巨費を投入、建設された体育館が、お年寄り、子供も町民全員が大いに利用し、体位向上、健康な体づくりに役立つものと期待しています。